

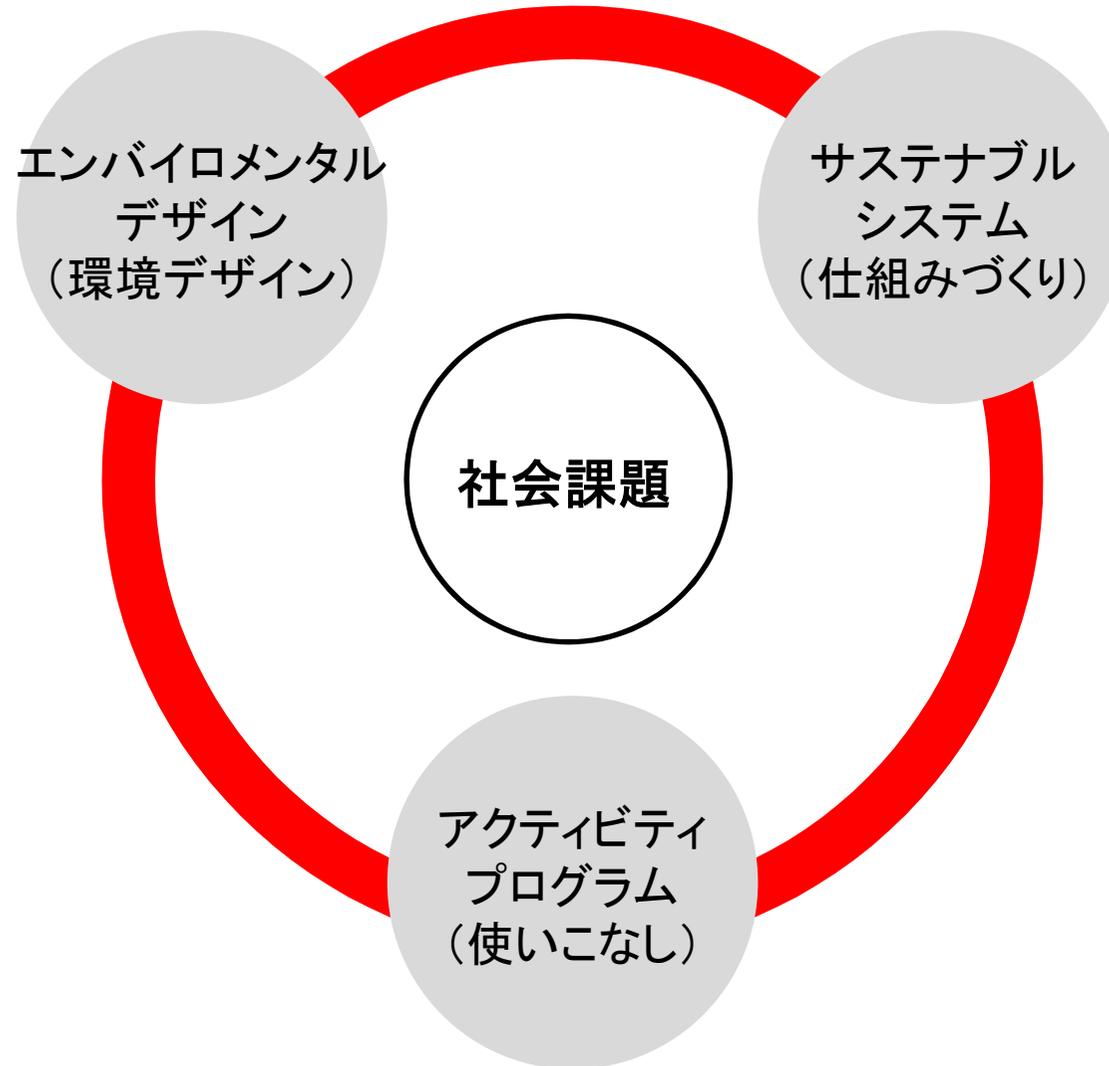
ミズベスクール3  
水辺における官民連携

E-DESIGN 忽那裕樹

活動のベースとなる「環境の器」をデザイン

活動を支える仕組みづくり

自らのスタイルで、大切な人との時間を豊かにする使いこなし





**Aqua Metropolis Osaka Festival –  
City Development Using Water and Light  
(水都大阪フェス – 水と光のまちづくり)**

**Awards:** 2016 “Ishikawa Prize” –The Japan Society for Urban Planning (日本都市計画学会「石川賞」)

Aqua Metropolis Osaka 2009	8/22 –10/12
Aqua Metropolis Osaka Festival 2011	10/22 –30
Aqua Metropolis Osaka Festival 2012	10/13 –21
Aqua Metropolis Osaka Festival 2013	10/11 –14
Aqua Metropolis Osaka Evening Market	2015/7 –10



## フェスの3つのコンセプト

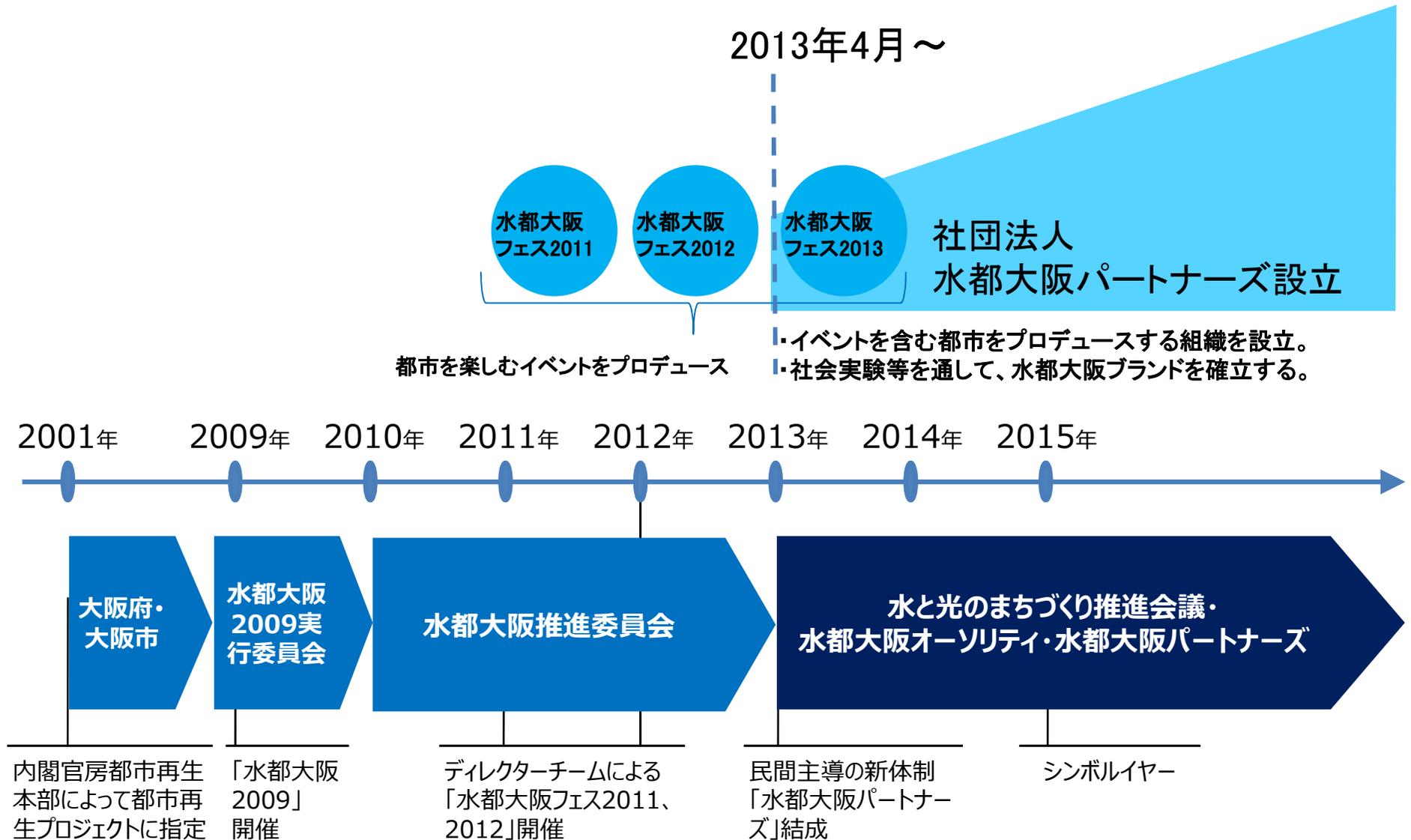
①都市の水辺の魅力を使いこなす

②まちで、楽しみを分かち合う

③大阪に誇りと愛着をもつ

# 「水都大阪」として、大阪のまちをプロデュースする

これまでのあゆみとこれから



# 水都大阪パートナーズ始動2013～

## 世界へ発信する「水と光の首都大阪」の実現をめざして 水辺と船の楽しみ方世界一を実現するアーバンリゾートの形成をめざします

**古代～江戸時代**  
水都イメージ「世界最先端の水辺文化の継承」  
海シルクロード・交流・行楽・商業・祭・環境



3600隻の活躍

**2012年度の評価と課題**

- ①水辺のハード面質の格差（八軒家浜・道頓堀・船渠ライトアップなど）
- ②市民担い手の増大・ネットワーク基盤づくり等
- ③都市型観光においてプロモーションや民間投資等の拡大が期待される等

**再スタート（2013年～2016年）と目標**

- 水辺・公共空間への民間投資・世界からの集客・ブランド発信
- 2大広域観光エリアを軸とした東西軸の強化
- 水辺のまち拠点創出と画期的性の向上
- 水に降り出す文化の再興
- 水都一体の魅力づくり
- 食・船・みどり
- ビジネス
- エンターテインメント

## 水都大阪パートナーズが実施する「水辺のまち拠点づくり」

**A インナーベイ・マーケットリゾート**  
①中之島ゲート



- 市場の食ブランドを活かした水辺のマーケット
- 船中川・船と船の乗り換えターミナル
- 特選などで連続的に両岸をつなぐ水辺のネットワーク

**B インターナショナル・パークリゾート**  
②中之島公園（緑、水辺、建築物の有機的連携活用）



- 公園と一体となった新たな賑わい空間の創出
- 国際交流の舞台となるエンターテインメント性あふれる水辺空間
- パークマネジメントの推進による多様なビジネスの展開



## 水都大阪パートナーズが中心となって創出する「水面&水辺活用コンテンツ」

食ツーリズム

船乗結

橋上活用

水ホテル・造船ビル

パフォーマンス

光

世界最大の水辺/パレ

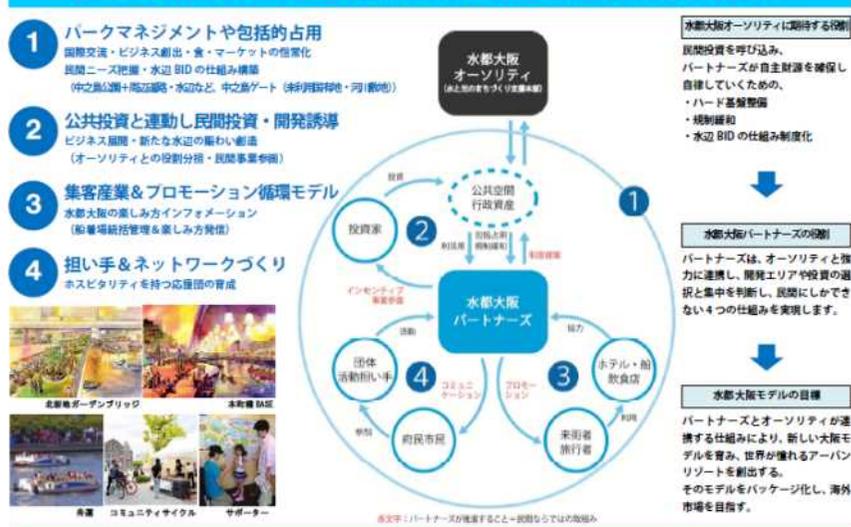


## 世界一やってみてみたいを叶えるまち「大阪」の実現と4年後に目指す状況（水都大阪オーソリティとの共同実施）

<b>民間投資</b> 呼び水となる水辺のまち拠点数 0 → 15ヶ所	<b>シビックプライド</b> イベント開催能力(参加企業・団体数) 80 → 300企業・団体	<b>広域集客</b> 主要な水辺のまち拠点来場者数 (中之島公園+八軒家浜+道頓堀+中之島ゲート) 2倍増
-------------------------------------------	--------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

## 課題は、「独自財源と公共性を持つ継続的仕組み」と「国内外へのプロモーション」

## 水都大阪パートナーズは「民間投資循環の水辺 BID」をつくります。

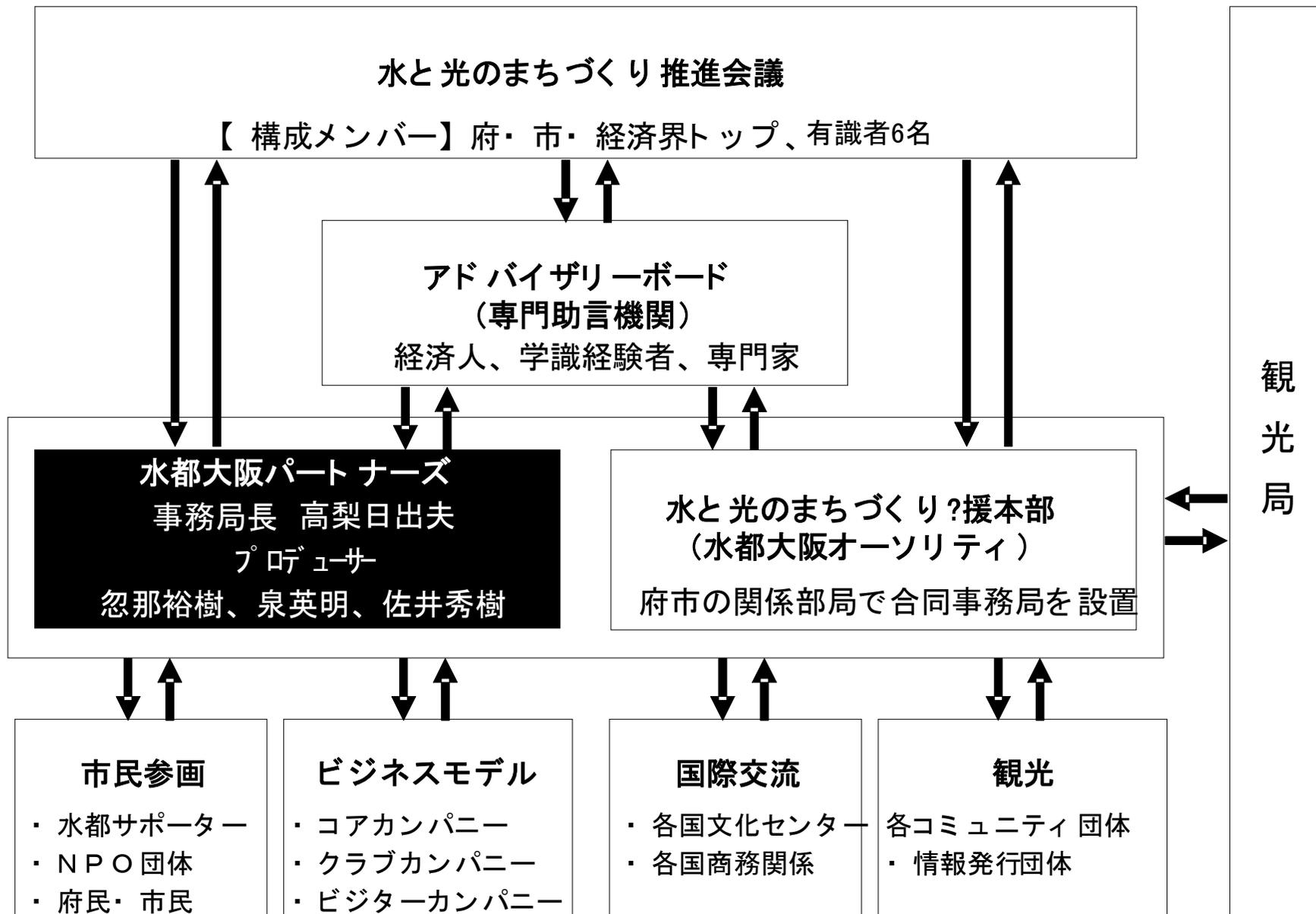


## 大阪の水辺・水上の楽しみ方を国内外に的確に伝えます。

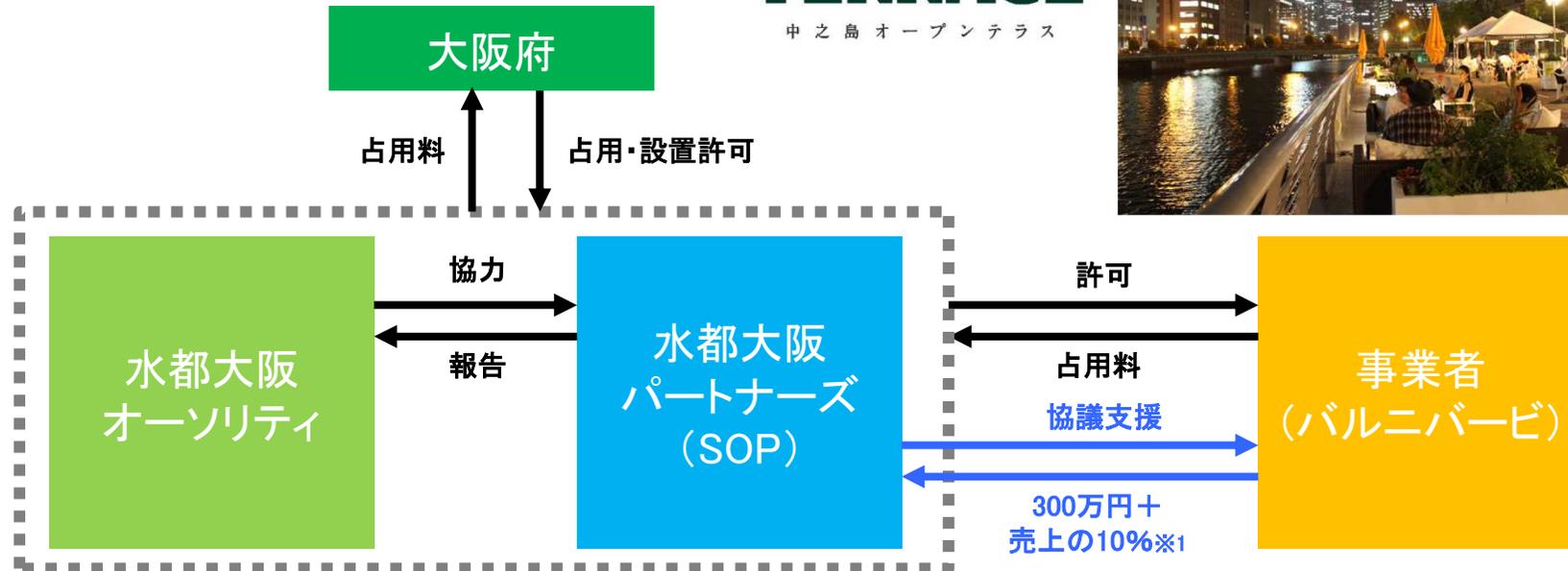




# 体制



# 一般社団法人 水都大阪パートナーズ (中之島オープンテラス事業)



※1

客席と仮設トイレ、放送設備等の飲食サービス利用者及び公園利用者への便益施設	A: 固定費 (売上が5,000万円まで)	B: 歩合費 (売上が5,000万円超過した場合)
	300万円	超過売上分の10%以上で提案の率による。
仮設厨房及びストックヤード等の事業用施設	C: 公園使用料	
	面積×公園使用料 (150円/m <sup>2</sup> ・日) ×営業日数	

項目	水都大阪パートナーズ収入	備考
占用料	—	扇町公園事務所へ納付
協議支援固定費	300万円	
協議支援歩合費	超過売上分の10%※2	

※2 2016年度の売上は7,000万円  
 7,000万円 - 5,000万円 = 2,000万円  
 2,000万円 × 10% = 200万円  
**SOP収益: 300万円 + 200万円 = 500万円**

# 北浜テラス

現在は、北浜テラスは常設化し、12店舗に拡大



「OUI」



「MOTO COFFEE」



「十六夜」



「真琴」

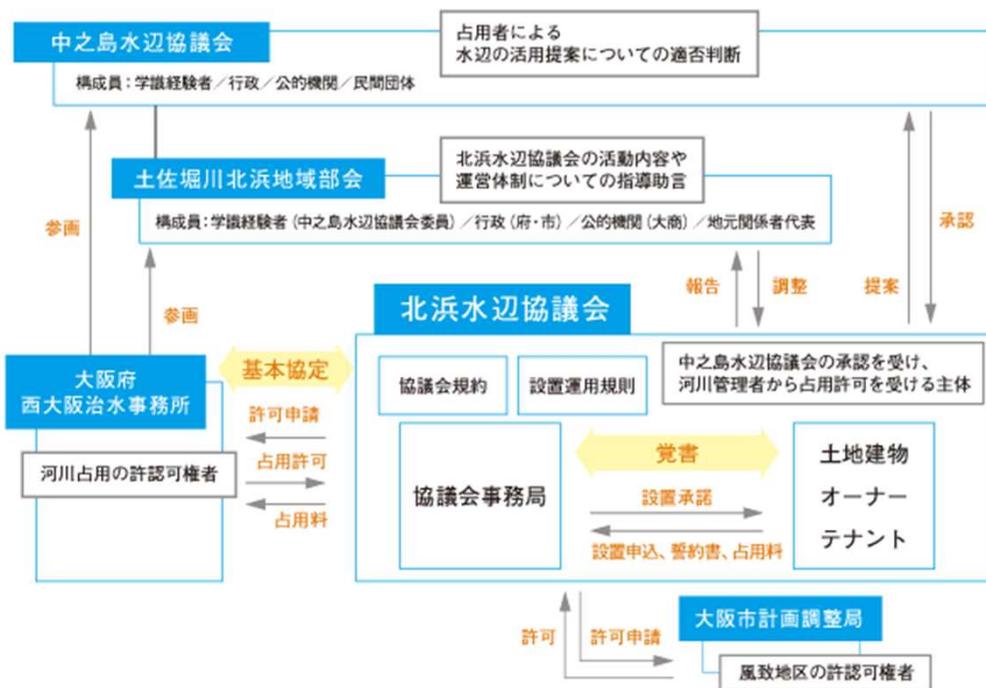


「北浜ルンバ」



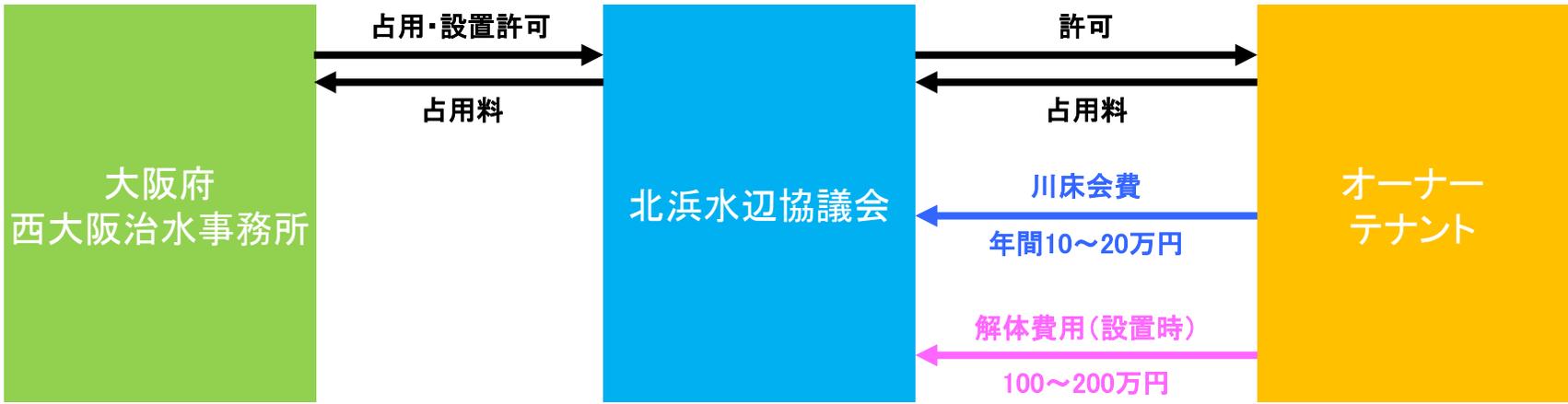
「Buon Grande」

# 北浜水辺協議会（北浜テラス）



項目	北浜水辺協議会 収入	備考
流水占用料	—	西大阪治水事務所 へ納付
川床会費※1	10～20万円/年 ※平米数で計算	協議会の運営費と なっている
解体費用	100～200万円 ※平米数で計算	設置時に協議会へ 納付

※1  
2018年度現在は、10店舗が加盟しており、年間150万円程度の収益がある



# 中之島GATE



木津川

安治川

USJ

大阪市  
中央卸売市場

中之島西剣先

土佐堀川

堂島川





粉もんではない7店舗 17日間で5万人が来場

**総売上1800万円超（17日間開催）**



## ■ 中之島GATE事業経緯

### 中之島GATEの動き

**STAGE2 : (2014年～2019年)**

「マーケットリゾート」の常設的な運営（民間事業者による暫定利用）

イベントスペース（維新派）



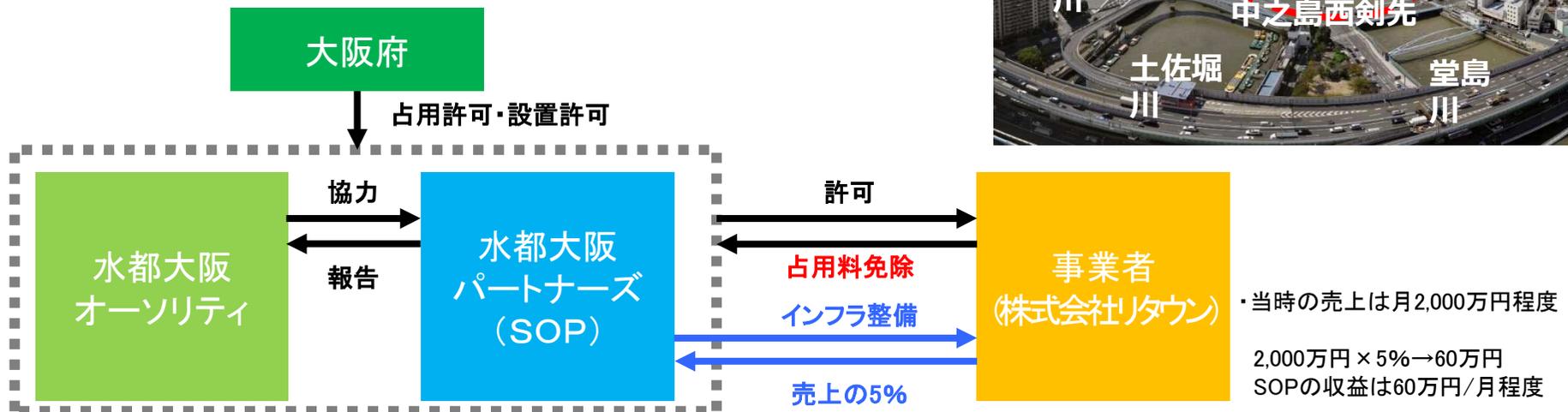
(C)ISHINHA 2014 Photo:Yoshikazu Inoue



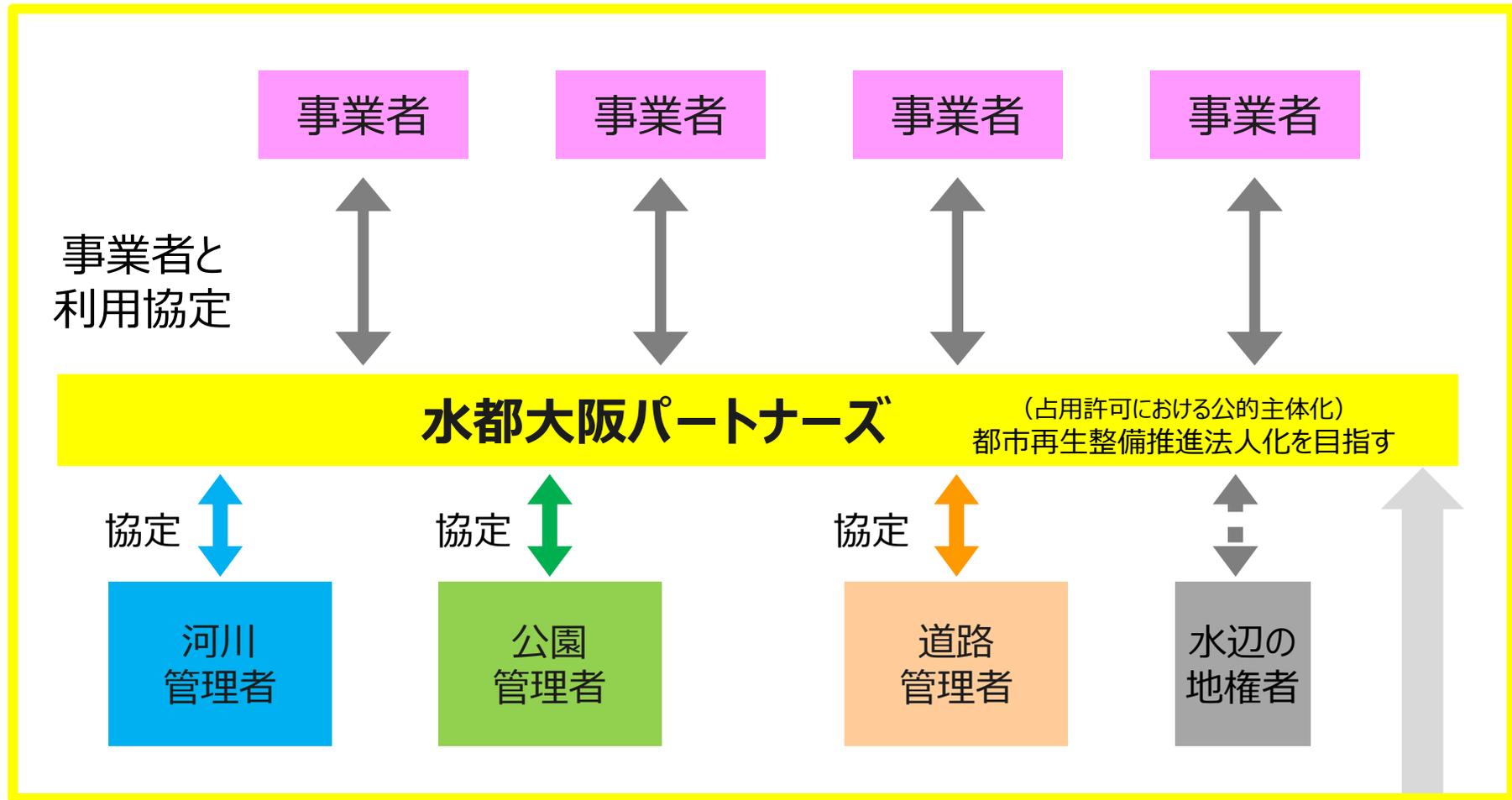


# 一般社団法人 水都大阪パートナーズ (中之島GATE 中之島漁港事業)

2012年10月、海と川の結節点にあたる中之島西端で、オープンカフェや光の演出、小型船係留施設の運営を中心とした社会実験が実施された。このエリアには、周辺に大阪市中央卸売市場本場や旧居留地である川口の倉庫群、新たにオープンした大阪府立江之子島文化芸術創造センターなどが立地し、大阪の歴史や文化に触れられるポテンシャルを有している。2012年8月、大阪府と大阪市の共通の戦略として取りまとめた「大阪都市魅力創造戦略(素案)」において、水と光の首都大阪の実現に向けて新たに創出するシンボル空間のひとつとして位置づけられた。この社会実験では、オープンカフェや小型船の係留施設を設置・運営するなど、河川区域においてこれまでにない試みが展開された。今後、シンボル空間としての可能性とその拠点を船でつなぐ仕組みを検証し、大阪の新しい水辺空間創出にチャレンジしていくエリアである。



# エリアマネジメントの仕組み（イメージ）



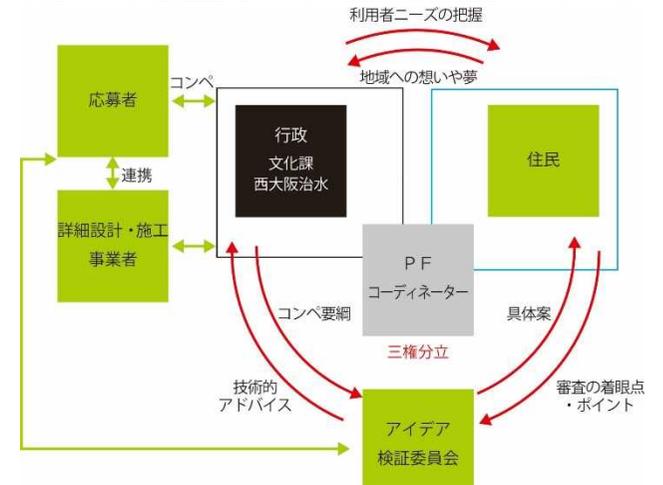
都市再生整備計画策定（市）  
都市利便増進協定  
都市再生整備推進法人指定（市）

# 水都大阪はNext Stageへ 水辺BIDの可能性



## 大阪府市都市魅力戦略会議での提案 水と光の首都大阪





## Kidzu River Promenade –Tokotokodandan (木津川遊歩空間「トコトコダンダン」)

Awards: 2018 GOLD PRIZE – GOOD DESIGN

Location: Osaka, Osaka City

Completion: 2017

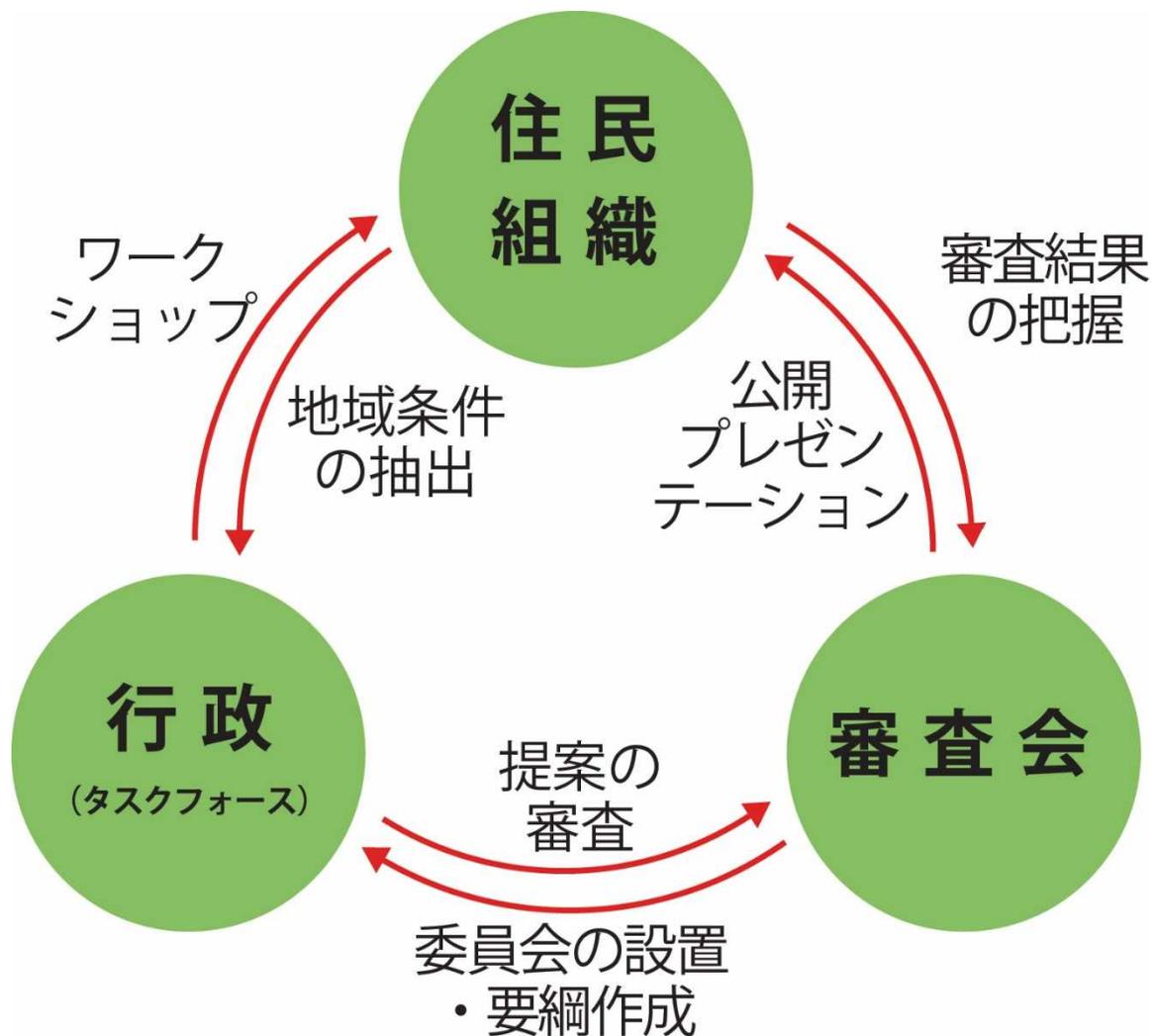
Site area: 4,300 m<sup>2</sup>



## ■ 木津川遊歩空間整備事業における制度設計補助

事前有識者会議

プラットフォーム形成支援事業

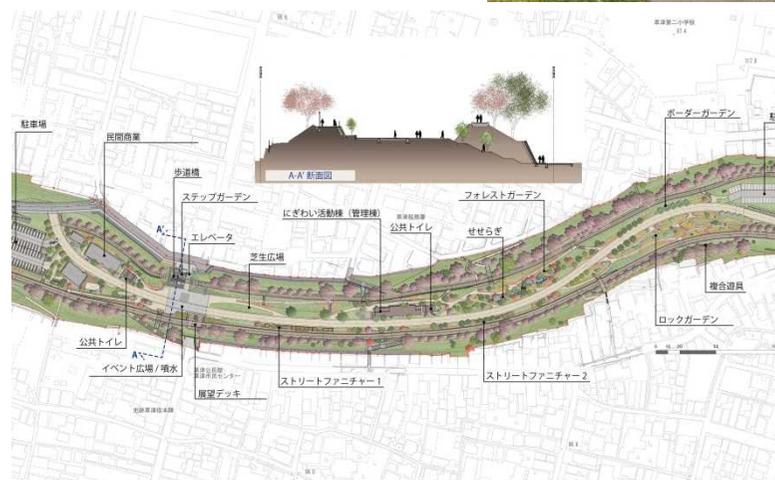




## Kusatsugawa Ruins Park (草津川跡地公園)

**Awards:** 2017 Prize of Minister of Land, Infrastructure and Transport (第33回国土交通大臣賞)

**Location:** Shiga-ken, Kusatsugawa City  
**Completion:** 2017  
**Site area:** 38,000 m<sup>2</sup>



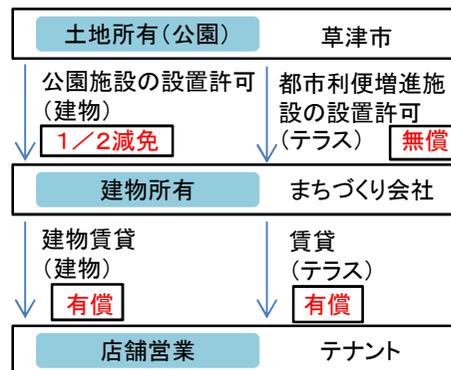
# 都市利便増進協定制度を活用した魅力増進へのフィードバック

草津まちづくり株式会社提供

- ・都市公園法に基づき、市がまち会社に対して建物の設置管理を許可。
- ・都市再生推進法人に指定されていることから市への使用料は1/2減免。
- ・都市利便増進協定制度を用いて市と協働で公園の賑わいを創出。
- ・利便施設から得る収益の一部を協定区域内の賑わいづくりのために活用。



都市利便増進協定区域  
 都市利便増進施設(テラス部分など)



店舗附帯のテラス



ファニチャーの設置

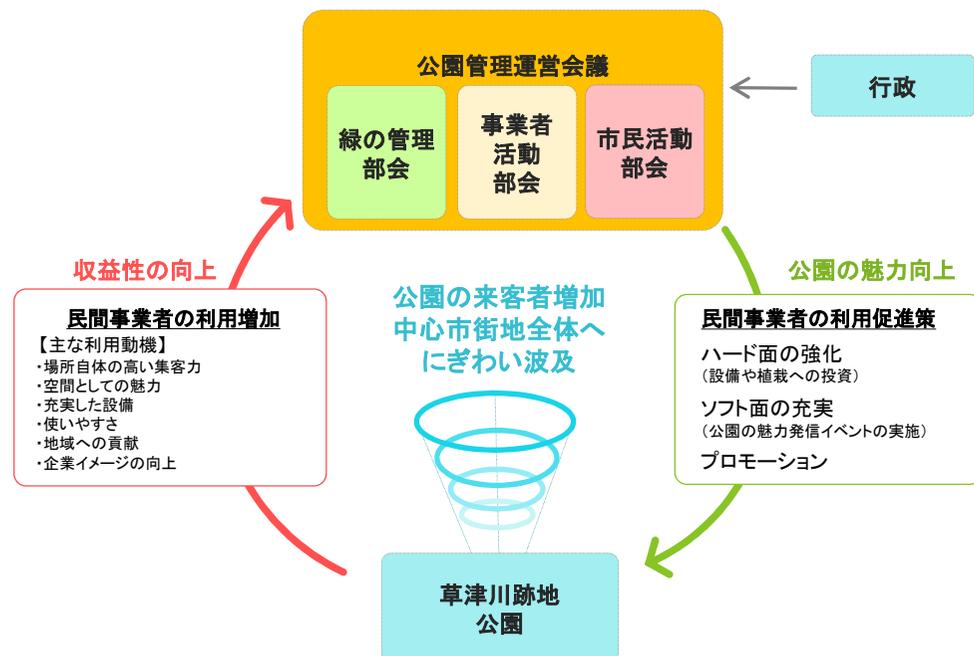


園内フラッグなど装飾



ガーデンの植栽管理

# ■ 公園の魅力向上と収益増加で継続的な公園経営を目指す



▲にぎわいイベント



▲こどもの日イベント

	初年度目標 (H29年度)	初年度実績 H29.4-H30.3
公園来場者数	300,000人	<b>610,020人</b>
イベント開催数	48回	29回
店舗来場者数	91,420人	<b>151,068人</b>
ボランティア登録人数	-	299人
新聞掲載回数	-	31回

年間目標の  
203%達成

年間目標の  
165%達成

活動のベースとなる「環境の器」をデザイン

活動を支える仕組みづくり

自らのスタイルで、大切な人との時間を豊かにする使いこなし

